

令和2年度自己点検・自己評価の実施のまとめ

仙台市医師会看護専門学校
自己評価委員会

目的：評価項目125項目を通して、日々の教育活動を振り返り、3年課程構築の一助とする。

- 目標：1. 学校運営の評価の視点を再確認できる。
2. 評価の視点で、日々の教育活動を振り返ることができる。
3. 3年課程学校運営の具体的な検討資料とする。

評価期間：平成31年4月～令和2年3月の1年間と令和2年4月～12月まで。

(前年度から現在までとなります)

実施者：准看護学科：11名

看護学科：9名（R2度採用者は除く）

事務：3名（パートは除く） 計23名

方法：1. 説明 令和2年12月15日（火）職員会にて

2. 配布 令和3年1月5日（火）

3. 回収 令和3年1月20日（水）～22日（金）の間に、
各部署の自己評価委員に提出

4. 結果 令和3年2月職員会で 集計結果を公表する

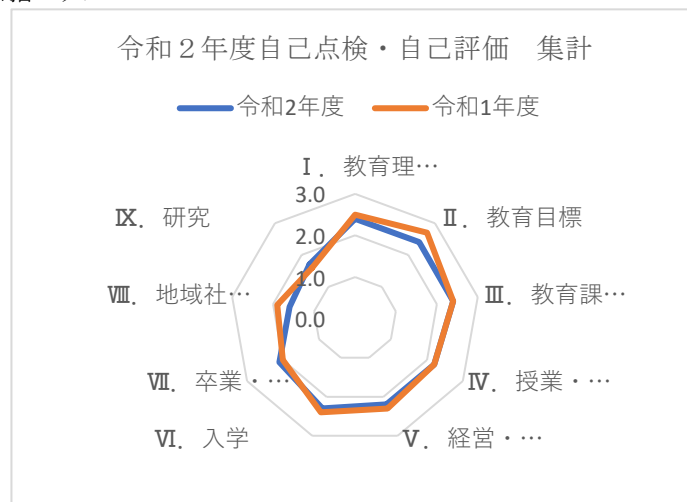
5. その他 事務の回答範囲 III教育課程の経営とIV教授・学習・評価課程は除く

表1 集計結果の平均

小数点第2位四捨五入

	令和2年度	令和1年度
I. 教育理念・教育目的	2.4	2.5
II. 教育目標	2.4	2.7
III. 教育課程経営	2.4	2.4
IV. 授業・学習・評価	2.2	2.2
V. 経営・管理過程	2.2	2.3
VI. 入学	2.3	2.4
VII. 卒業・就業・進学	2.1	2.0
VIII. 地域社会/国際交流	1.6	1.9
IX. 研究	1.7	1.6

(3：できた 2：まあまあできた 1：できない)



結果と分析

1. 全体的に前年度に比較し評価は低値を示している。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画通りにすすめられなかったことと、評価項目をより意識し検討することができた結果ではないかと考える。
2. いずれの項目においても、課題は山積している。現在の教育の状況をより具体的に検討し、課題の改善策をすぐにでも検討しなければならないが、本校は教育課程の変更の準備をすすめている時である。従って、今回さらに明確になった課題を意識下に置き、新たな3年課程の構築の土台としていきたい。

令和2年度自己点検・自己評価、学校関係者評価と今後の対応

仙台市医師会看護専門学校

実施方法

昨年度(平成31年4月～令和2年3月)から現在(令和2年12月)までについて、令和3年1月に実施した。

評価基準は3段階とした 3(よく当てはまる) 2(大体当てはまる) 1(当てはまらない)

平均点は 小数点第2位を四捨五入

区分 准:看護学科 n:11 看:看護学科 n:9 事:事務 n:3 (事務は教育課程に関する内容について集計せず)

大項目	大項目平均	評価内容	区分	部署毎			学校関係者評価	今後の対応
				3	2	1		
I 教育理念・教育目的	学:2.4 准:2.2 看:2.4 事:2.7	1-1 教育理念・教育目的は、自養成所の教育上の特徴を示している	准 看 事	3 4 2	8 5 1	・学校組織の一員として、理念の認識は必須である。とりわけ評価1の多い項目については意見交換が必要と思われる。	・3年課程構築に向けて、抽象的な表現をより具体的にイメージしやすく、また学生にとっても理解が得られ、卒業生像を意識できるように検討を重ねていく。	
		1-2 教育理念・教育目的は、法との整合性がある	准 看 事	6 5 2	5 4 1			
		2-1 教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示している	准 看 事	3 2 3	7 6 1			
		2-2 教育理念・教育目的は、実際に学生の学習の指針になっている	准 看 事	2 1 2	8 7 1			
		3-1 教育理念・目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育内容を設定しているかを述べている	准 看 事	3 3 2	7 6 1			
		3-2 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育方法をとるのかを述べている	准 看 事	2 3 2	7 5 1			
		3-3 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育環境をとるのかを述べている	准 看 事	2 2 2	7 5 2			
		4-1 教育理念・教育目的は、看護、看護学教育、学生観について明示している	准 看 事	2 3 3	8 5 1			
		4-2 看護、看護学教育、学生観は実際に教師の教育活動の指針となっている	准 看 事	3 3 2	8 6 1			
		5-1 教育理念・教育目的は、養成する看護師等が卒業時点においてもつべき資質を明示している	准 看 事	5 3 2	6 6 1			
		5-2 卒業時点にもつべき資質は、社会に対する看護の質を保障するのに妥当なものとなっている	准 看 事	6 4 2	5 5 1			
II 教育目標	学:2.4 准:2.3 看:2.5 事:2.5	1 教育目標は、教育理念・教育目的と一貫性がある	准 看 事	5 4 3	6 5 1	・COVID-19の影響によるものか、昨年度より評価が下がっているが、評価3に近づける努力が必要。また継続教育を見据えた、より実践的な教育目標の設定をお願いしたい。	・実践者を育成する専門学校の位置づけとして、目標への到達度を見極めフィードバックに活かしていく。	
		2-1 教育目標は、設定した教育内容を網羅している	准 看 事	4 4 2	7 5 1			
		2-2 教育目標は、最上位の目標として、教育活動のゴールが読み取れるものとなっている	准 看 事	3 4 2	8 5 1			
		3-1 教育目標は、目標内容と到達レベルが対応している	准 看 事	2 3 2	9 6 1			
		3-2 教育目標は、具体的で実現可能なものとなっている	准 看 事	2 3 1	8 6 2			
		4 看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定している	准 看 事	4 3 2	7 6 1			
		5 卒業後の継続教育の考え方を示した上で、教育目標を設定している	准 看 事	5 4 1	5 3 1			
		<教育活動経営者の活動>					・教員の自己研鑽に関しては、自助努力の部分が大きく、体制作りの構築が求められるため、業務調整や年間計画の中での役割分担を長期計画を含め、実践する必要がある。	
		1-1 教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確に理解している	准 看	10 2	1 6			
		1-2 教育課程編成者と教職員全体は、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っている	准 看	3 2	8 6			
		<教育課程編成の考え方とその具体的な構成>						
		1-1 看護学の内容について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している	准 看	5 4	6 5			
		1-2 学修の到達について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している	准 看	4 4	7 5			
		1-3 学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している	准 看	3 3	8 6			
		<科目、単元構成>						
		1-1 明確な考え方と根拠をもって科目を構成している	准 看	7 6	4 3			
		1-2 明確な考え方と根拠をもって単元を構成している	准 看	6 6	4 3			
		1-3 科目と単元の構成の考え方は教育理念・目的、教育目標と整合性がある	准 看	4 5	6 4			
		2-1 構成した科目は看護師等を養成するのに妥当である	准 看	8 7	3 2			
		2-2 構成した科目は養成所の特徴をあらわしている	准 看	5 3	6 6			
		<教育計画>						
		1-1 単位(科目)履修の方法について教師・学生の双方がわかるように明示している	准 看	6 6	4 3			
1-2 単位(科目)履修の方法は学生の単位(科目)履修を支援するものとなっている	准 看	7 6	4 3					
2 単位(科目)履修制の考え方を踏まえつつ、看護師等になるための学修の質を維持できるように、科目の配列をしている	准 看	4 6	6 1					

32	Ⅲ 教育課程 経営	学:2.4 准:2.3 看:2.4	<教育課程評価の体系>							
33			1-1	単位(科目)認定の基準は看護師等に必要学修を認めるものとして妥当である	准 看	6 6	5 3	・努力されていることが感じられますが、評価が低かった教育課程評価の体制については改善の努力が必要と思われる。		
34			1-2	単位(科目)認定の方法は看護師等に必要学修を認めるものとして妥当である。	准 看	6 5	5 4			
35			2	他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えている	准 看	8 8	1 1			
36			3-1	教育課程を評価する体系を整えている	准 看	3 3	5 4			
37			3-2	評価結果の活用における倫理規定を明確にしている	准 看	3 2	3 5			
38			<教員の教育・研究活動の充実>							
39			1-1	教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間数を配分している	准 看	2 1	8 7		1 1	・授業準備の時間や自己研鑽の期間確保が難しい状況ではありますが、改善を提案する。
40			1-2	教員が授業準備のための時間がとれる体制を整えている	准 看	2 3	6 6		3	
41			2-1	教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽のシステムを整えている	准 看	4 4	7 7		2 2	
42			2-2	教員が相互に成長できるよう、相互研鑽のシステムを整えている	准 看	2 2	5 5		4 4	
43			<学生の看護実践体験の保障>							
44			1-1	臨地実習施設は、養成所の個別の教育理念・教育目的、教育目標を理解している	准 看	1 1	9 8		1 1	・コロナ禍にあることにより、実践の場での学習が限られ、ご苦労されたことと思いますが、学内でできることの工夫をされ、学びにつなげていただきたいと思います。
45			1-2	臨地実習施設は学生の看護実践の学習を支援する体制を整えている	准 看	2 4	9 5			
46	2-1	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、臨地実習指導者の役割を明確にしている	准 看	3 4	7 5	1				
47	2-2	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、教員の役割を明確にしている	准 看	3 7	7 2	1				
48	2-3	臨地実習指導者と教員の協働体制を整えている	准 看	3 4	8 5					
49	3-1	学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示している	准 看	7 6	3 3	1				
50	3-2	対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っている	准 看	5 5	6 4					
51	4-1	臨地実習において学生が関係する事故を把握、分析している	准 看	8 5	3 4					
52	4-2	学生に対する安全教育、安全対策を計画的に行っている	准 看	4 5	7 4					
53	<授業内容と教育課程の一貫性><看護学としての妥当性><授業内容間との関連と発展>									
54	1	授業内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されている	准 看	6 6	5 3		・看護師としての基礎的能力の保証をするためには評価体系をしっかりと整える必要がある。3年課程移行時に教育内容・方法の検討と並行して計画的に作成する。			
55	2-1	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べている	准 看	4 4	5 5	2				
56	2-2	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性をもっている	准 看	3 5	8 4					
57	3	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性がある	准 看	4 5	6 3	1				
58	4	授業内容間の重複や整合性、発展性等が明確になっている	准 看	1 3	8 5	2				
59	<授業の展開過程>									
60	1	授業形態(講義、演習、実験、実習)は、授業内容に応じて選択している	准 看	5 6	5 3	1	・2年間という限られた時間の中で演習時間の制約は止むを得ないことと推察する。			
61	2	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画に明示し、実践している	准 看	2 3	9 6					
62	3	授業の展開過程の他に、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援している	准 看	4 3	5 6	2				
63	4	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしている	准 看	5 2	4 6	2				
64	<目標達成の評価とフィードバック>									
65	1-1	評価計画を立案し、実施している	准 看	2 7	7 2	2	・自己の考えや意見をまとめ、表現する機会を増やすことも学習支援につながると考える。			
66	1-2	評価結果に基づいて、実際に授業を改善している	准 看	1 7	8 2	2				
67	2-1	学生および教育活動を多角的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れている	准 看	1 6	6 3	4				
68	2-2	教育目標の達成状況を多面的に把握している	准 看	2 5	7 4	2				
69	3-1	学生に単位(科目)認定のための評価基準と方法を公表している	准 看	7 4	4 5					
70	3-2	単位(科目)認定の評価には公平性が保たれている	准 看	6 4	5 4	1				
71	<学習への動機づけと支援>									
72	1-1	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一環性がある	准 看	3 2	5 6	3	・卒後3~4年で、チームリーダーの役割を担うことを考えると、実践を見据えた教育、一斉授業に加え小グループ制の個別重視教育も必要と考える。			
73	1-2	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっている	准 看	7 1	4 6	2				
74	<設置者の意思・指針>									
75	1-1	養成所の管理者は教育理念・教育目的についての考え方を明示している	准 看 事	5 2 2	6 7 1		・実践に対応していけるために自ら学ぶ姿勢が求められている。主体的に行動する学生を育成するためのカリキュラムを検討している。			
76	1-2	養成所の管理者は教育課程経営についての考え方を明示している	准 看 事	5 2 2	5 5 1	1				
77	1-3	養成所の管理者は教育評価についての考え方を明示している	准 看 事	5 2 2	4 5 2	2				
78	1-4	養成所の管理者は養成所の管理運営等についての考え方を明示している	准 看 事	5 2 2	5 7 1	1				
79	1-5	明示した管理者の考えと、設置者の意思とは一貫性がある	准 看 事	5 2 2	6 6 1					
80	1-6	教職員は養成所の設置者と管理者の考え方を理解している	准 看 事	2 2	8 5	1 2				

73			<組織体制>						
	1-1	養成所の組織体制は、教育理念・目的を達成するための権限や役割機能が明確になっている	准 看 事	6 2 2	4 4 1	1 3 1	・評価について、准看護学科と看護学科に差があるのが気になり、評価1が多いと思われる。スムーズな意思決定がはかれる組織であるために可視化等学校全体としての取り組みが必要と思われる。	・組織体制の明確化と意思決定システムの周知をはかるとともに各職員の意見を表現できる工夫をしていく	
74	1-2	意思決定システムが明確になっている	准 看 事	5 1 2	5 4 1	1 4 1			
75	1-3	意思決定システムは、組織構成員の意思を反映できるように整えられている	准 看 事	4 2 2	6 4 1	1 5 1			
76	1-4	意思決定システムは、決定事項が周知できるように整えられている	准 看 事	5 1 2	5 3 1	1 5 1			
77	2-1	組織の構成と教職員の任用の考え方と、教育理念・教育目的達成との整合性がある	准 看 事	4 1 2	6 6 1	1 2 2			
78	2-2	教職員の資質の向上についての考え方と対策には教育理念・教育目的達成との整合性がある	准 看 事	4 1 2	7 7 1	1 1 1			
			<財政基盤>						
79	1-1	財政基盤を確保することについての考え方が明確である	准 看 事	4 1 2	6 8 1	1 1 1	・努力されていると考える。		
80	1-2	財政基盤を確保することについての考え方は、学習・教育の質の維持・向上につながっている	准 看 事	2 2 1	9 6 2	1 1 2			
81	2-1	教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解している	准 看 事	5 1 1	6 8 1	1 1 1			
82	2-2	教職員のそれぞれの観点からの財政についての意見は、経営・管理過程に反映できるようになっている	准 看 事	1 1 1	9 4 1	1 4 1			
			<施設設備の整備>						
83	1-1	学習・教育環境の整備について、管理者の考え方を明示している	准 看 事	3 2 2	7 6 1	1 1 1	・3年課程に向けたより良い学習環境の整備をお願いしたい。		
84	1-2	管理者の考え方に基づいて整備計画を立案し、実施している	准 看 事	3 2 1	7 6 1	1 1 1			
85	2-1	看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備している	准 看 事	4 2 1	7 7 2	1 1 1			
86	2-2	医療・看護の発展や学生層の変化に合わせて、施設設備を整備・改善している	准 看 事	2 3 1	7 5 1	2 1 2			
87	3-1	養成所が設置されている地域環境との関連から学生及び教職員にとっての福利厚生の施設設備の整備を検討している	准 看 事	1 1 1	6 4 2	4 4 2	・今後とも学生が学びやすいよう支援をお願いいたします。		
88	3-2	学生が学生生活を円滑に送り、教職員が職務を円滑に遂行できるように施設設備を整備している	准 看 事	3 2 2	8 7 1	1 1 1			
89	1-1	学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に整えている	准 看 事	7 6 1	4 3 2	1 1 1			
90	1-2	学生が活用しやすいように学生生活の支援体制を整えている	准 看 事	4 4 2	7 5 1	1 1 1			
91	1-3	支援体制は、実際に学生に活用され、学修の継続を助けている	准 看 事	3 4 2	8 5 1	1 1 1			
			<養成所に関する情報提供>						
92	1-1	教育・学習活動に関する情報提供を関係者(保護者等)に行っている	准 看 事	8 1 2	3 7 1	1 1 1	・地域に居住する住民の一人として、看護学校の存在を意識していない。もっと大いにアピールしてもよいと思われる。		
93	1-2	関係者(保護者等)への情報提供は関係者から協力・支援を得ることにつながっている	准 看 事	5 1 2	6 7 1	1 1 1			
94	2-1	看護師等を養成する機関としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っている	准 看 事	2 1 1	9 6 1	1 1 1			
95	2-2	広報内容は、社会的説明責任を果たすものになっている	准 看 事	5 1 1	6 7 1	1 1 1			
			<養成所の運営計画と将来構想>						
96	1-1	養成所は明確な将来構想のもとに、運営の中・長期計画、短期計画、年間計画を立案している	准 看 事	5 1 2	4 6 1	2 2 1	・概ね、自己研鑽の体制がとれている		
97	1-2	その実施・評価は将来構想との整合性をもっている	准 看 事	4 1 2	5 6 2	2 1 1			
			<自己点検・自己評価体制>						
98	1-1	自己点検・自己評価の意味と目的を理解している	准 看 事	5 3 1	6 6 2	1 1 1	・概ね、自己研鑽の体制がとれている		
99	1-2	実際に自己点検・自己評価を行うための知識と方法を明確にもっている	准 看 事	1 1 1	9 7 2	1 1 1			
100	2-1	自己点検・自己評価体制を整え、運用している	准 看 事	3 1 1	8 6 2	1 2 2			
101	2-2	自己点検・自己評価は、養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックするように機能している	准 看 事	2 1 1	7 7 1	2 1 1			
102	2-3	自己点検・自己評価体制は、養成所の教育理念・教育目的、教育目標の維持・改善につながるように機能している	准 看 事	3 1 1	7 7 2	1 2 1			
103	1	教育理念・教育目的との一貫性をもって入学者選抜についての考え方を述べている	准 看 事	2 3 3	8 6 1	1 1 1		・努力されていると考える	
104	2	入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法及び教育効果の視点から分析し、検証している	准 看 事	1 3 1	7 4 2	3 2 2			
			<VI 入学>					・3年課程移行に向けて、分析・検証していく。	

105	VII 卒業・就職・進学	学:2.1 准:1.8 看:1.7 事:2.9	1	卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っている	准 看 事	3 2 1	6 7 2	2	・卒業生の動向把握は、個人情報保護の観点から、また就業場所の変更等から難しいことと思います。しかし現在の教育活動の問題提起とつながり、教育場面に活かしていくことにつながるので、体制作りを進めていただきたい。	・目的・目標に到達できる実績を上げている。しかし、卒業後の動向については現在計画的に行われていない。今後の課題としていきたい。	
106			2-1	卒業時の到達状況を分析している	准 看 事	3 2 1	4 5 2	4			
107			2-2	卒業生の就業・進学状況を分析している	准 看 事	6 2 1	5 4 2	3			
108			2-3	卒業生の到達状況、就業・進学状況についての分析結果は、教育理念・教育目標との整合性がある	准 看 事	4 2 1	4 7 1	3			
109			3-1	卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明確にしている	准 看 事	3 4 1	8 5 1				
110			3-2	卒業生の就業先との情報交換や調査の実施等ができる体制を整えている	准 看 事	4 3 1	7 6 1				
111			4-1	卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理している	准 看 事	1 3 2	7 6 1				
112			4-2	卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念・教育目的、教育目標、授業展開に活用している	准 看 事	1 3 1	5 6 3				
113	VIII 地域社会／国際交流	学:1.6 准:1.4 看:1.7 事:1.7	<地域社会>			准 看 事	1 1 1	6 6 2	4	・非常に評価ポイントが低くなっている。実習施設の多くが仙台市内にあることから地域の状況を把握しやすくなっているのではないかと。学生の時から地域貢献を意識した看護師の教育が必要と考える。	・地域のニーズを把握し、看護教育活動を通して地域社会に貢献することは今後益々不可欠なることを念頭に、仙台市医師会の特徴を活かした教育活動を推進していく。
114			1-1	社会との連携に向けて、地域のニーズを把握している	准 看 事	1 1 1	6 6 2	4			
115			1-2	看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的にしている	准 看 事	6 4 2	5 5 1				
116			2-1	養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段をもっている	准 看 事	1 4 3	2 5 3	8			
117			2-2	養成所から地域社会へ情報を発信する手段をもっている	准 看 事	2 1 1	6 5 3	3			
118			3-1	養成所が設置されている地域の特徴を把握している	准 看 事	5 1 1	6 7 1				
119			3-2	地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れている	准 看 事	7 5 2	4 4 1				
120			<国際交流>			准 看 事	3 1 1	4 6 10	7		
121	1	国際的視野を広げるための授業科目を設定している	准 看 事	3 1 1	6 6 2						
122	2	国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えている	准 看 事	1 3 1	5 5 2						
123	3	海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えている	准 看 事	1 3 1	5 5 2						
124	IX 研究	学:1.7 准:1.5 看:1.2 事:2.3	1	教員の研究活動を保障(時間的、財政的、環境的)している	准 看 事	1 2 1	5 7 2	5	・忙しい中ではありますが、研究活動に取り組むのは学生にとって価値ある活動です。例えば、卒業生の統計はいい材料になるのではないかと。	・日々の教育活動における自己研鑽と学校としての体制作りに取り組んでいく。	
125			2	教員の研究活動を助言・検討する体制を整えている	准 看 事	1 2 1	3 7 2				
126			3	研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所内にある	准 看 事	3 3 1	8 8 2				
その他全体を通してのご意見感想をお願いいたします。			<p>今般のコロナ禍で一年本当に大変だったと思います。ご苦勞様でした。そして有難うございました。実習の受け入れ中止や縮小につきましても苦勞の判断でしたが、規定を守っていただき大火なく終えることができました。これも貴校様が丸となって取り組み対応していただいた賜物です。有難うございました。</p> <p>お疲れ様です。今年度はコロナ禍でもあり十分な活動ができなかったかもしれませんが、しかし、評価は、教育目標や地域社会国際交流については上昇しています。さらに入学についても力を注いでいることが点数上明らかになっています。地域社会国際交流においては、コロナ禍がだいぶ影響していると思われまます。研究についても実施したくてもなかなかフィールドが確保するのに難しい状況が起きています。評価項目の表現が難しい箇所が何か所か見られ個々がイメージしながら評価することになります。評価するときの指標があると評価しやすく標準化できると思いましたが。大項目の9つは、何かの基準に基づいて作られているものなのでしょうか？全体的に表現が難しく抽象度が高いのでそのような質問をさせていただきました。今後さらにこの評価をもとに課題を抽出し課題解決に取り組み是非、質の高い看護師を育成していただきたいと思ひます。当院も微力ながら支援していきたいと思ひます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>資料等読み込んだつもりではありますが、的外れな意見でしたらすみません。どの職場にも理念や目標が示されていますが、先生方のようにしっかり向き合っているかと考えると全く恥ずかしい限りです。これを機会に、私自身も職場の理念に向き会おうと思ひました。ありがとうございました。何をにおいても新型コロナウイルスの影響は大きく、さらに3年課程への準備の平行で大変苦勞されていることと思ひます。精神的な安定を図るためのリフレッシュもままならない状況ではありますが、小さな喜びを積み重ねて、少しずつでも日常を取り戻していけるよう微力ながら応援させていただきます。</p> <p>125項目の一つ一つを確認し、あらためて看護師養成にこれだけの教育活動の視点があつたのかと知る機会になりました。学生であった時は、ただ日々を必死に過ごすだけでした。その必死な迷える学生を導き、時には背中を押して、看護師資格取得まで一緒に走り続けてくださった先生方への感謝は尽きません。今回の結果は、項目によっては評価が低く、すぐに改善する必要があるかと思ひます。今後3年課程へ移行するに当たり、明確になった課題をクリアして地域に誇れる仙台市医師会看護学校となることを祈っています。</p> <p>新型コロナウイルスによる影響を受け、少ない時間 限られた環境の中で生徒の指導にあたるのは大変だと感じる。3年課程に向けた準備も進む中、私にもできることがあれば協力したいと思ひます。</p>						<p>・令和3年度末で准看護学科が、令和5年度末で看護学科(2年課程)が閉科」を迎え、令和5年度から3年課程看護学科に移行する。まさに今その過渡期にある。</p> <p>・昨年に引き続き実施した自己点検・自己評価項目内容をより深く理解したことにより、また前回の結果を意識して教育にかかわったことにより、評価点数に変化が生じたものと思ひます。</p> <p>・コロナ禍により通常の教育ができなかったことにより、教授方法の検討や学習内容の精選につながっている。</p> <p>・今回の検討結果から、3年課程構築においてより強化して取り組まなければならない内容が明確になってきたことから、今後の活動に活かしていきたい。</p>		